

柏都市計画事業 柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業

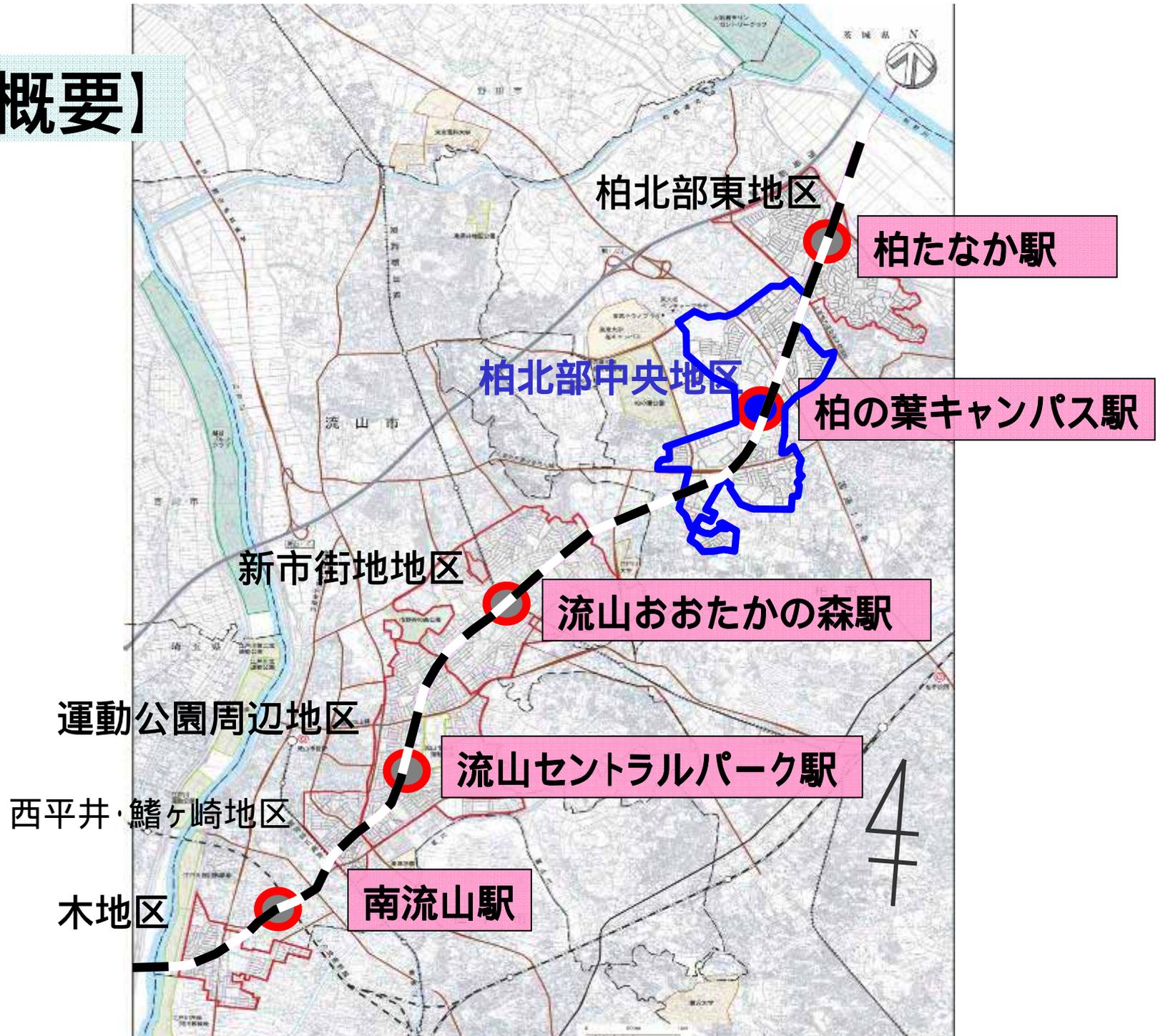


千葉県

【つくばエクスプレスの概要】

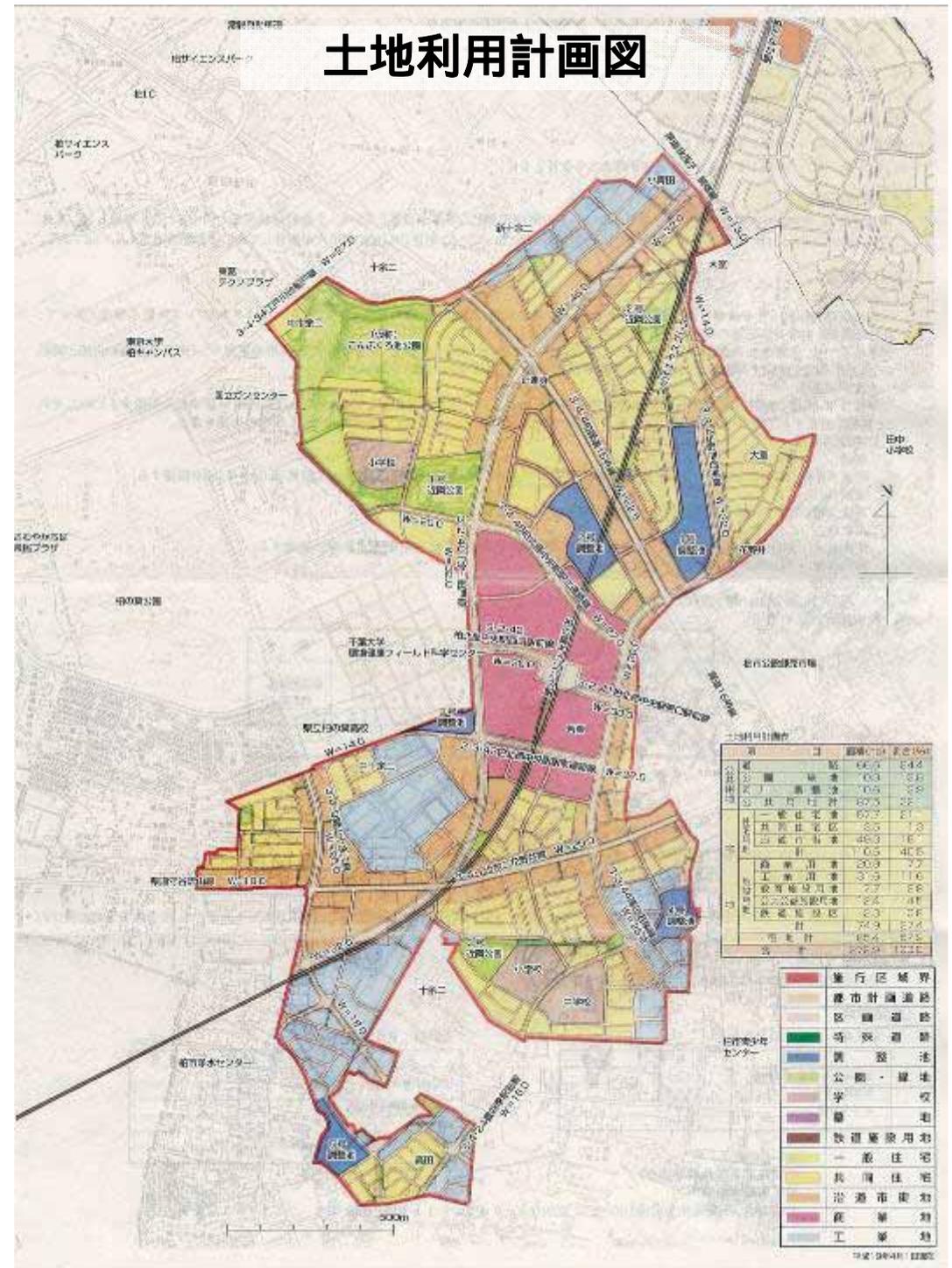


【事業概要】



【事業概要】

地区面積	約 273 ha
平均減歩率	40 %
移転戸数	246 戸
総事業費	約 963 億円
施行期間	平成12年度～ 平成34年度



【費用便益比】

対象街路(計画路線)

地区内の都市計画道路(11路線)

柏国道16号線、十余二花野井線、
葉山十余二線、豊四季駅前線、
十余二船戸線、柏北部中央駅東
口駅前線、柏北部中央駅西口駅
前線、柏北部中央駅南連絡線、
高田若柴線、船戸若柴線、柏北
部中央駅北連絡線

競合路線

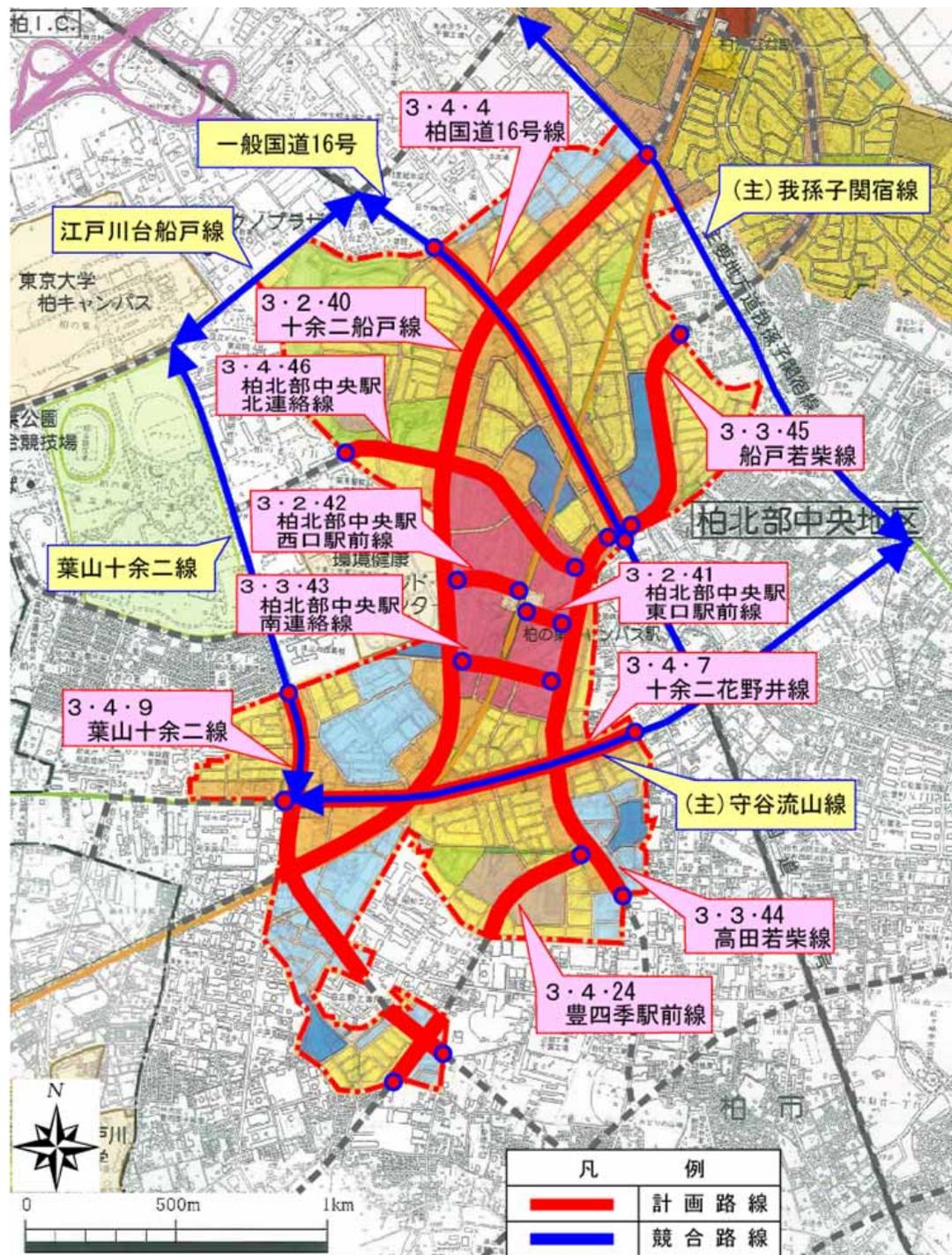
主要地方道 我孫子関宿線

一般国道16号

3・3・34 江戸川台船戸線

3・4・9 葉山十余二線(区域外)

主要地方道 守谷流山線



【計画路線・競合路線交通量の推移】

競合路線 主要地方道我孫子関宿線

計画路線 十余二船戸線

計画がある場合	
十余二船戸線 平成30年	
交通量	24,400
混雑度	0.85
旅行速度	40.3

計画がない場合

我孫子関宿線 平成30年	
交通量	14,800
混雑度	0.93
旅行速度	45.2

計画がある場合

我孫子関宿線 平成30年	
交通量	7,500
混雑度	0.47
旅行速度	49.5



計画路線 船戸若柴線

計画がある場合	
船戸若柴線 平成30年	
交通量	8,500
混雑度	1.06
旅行速度	29.6

計画路線 柏北部中央駅北連絡線

計画がある場合	
駅北連絡線 平成30年	
交通量	11,400
混雑度	0.48
旅行速度	44.5

計画路線 柏北部中央駅南連絡線

計画がある場合	
駅南連絡線 平成30年	
交通量	6,300
混雑度	0.26
旅行速度	36.0

計画路線 豊四季駅前線

計画がある場合	
豊四季駅前線 平成30年	
交通量	8,100
混雑度	1.01
旅行速度	31.1

計画路線 高田若柴線

計画がある場合	
高田若柴線 平成30年	
交通量	16,500
混雑度	0.69
旅行速度	34.6

競合路線 一般国道16号 計画路線 柏国道16号線

計画がない場合	
一般国道16号 (柏国道16号線) 平成30年	
交通量	64,600
混雑度	1.41
旅行速度	14.2

計画がある場合

柏国道16号線 (一般国道16号) 平成30年	
交通量	32,800
混雑度	0.71
旅行速度	47.5



競合路線 江戸川台船戸線

計画がない場合

江戸川台船戸線 平成30年	
交通量	21,300
混雑度	0.88
旅行速度	33.2

計画がある場合

江戸川台船戸線 平成30年	
交通量	10,800
混雑度	0.45
旅行速度	36.0



競合路線 葉山十余二線 計画路線 葉山十余二線

計画がない場合

葉山十余二線 平成30年	
交通量	16,200
混雑度	1.50
旅行速度	7.0

計画がある場合

葉山十余二線 平成30年	
交通量	8,200
混雑度	1.02
旅行速度	37.5



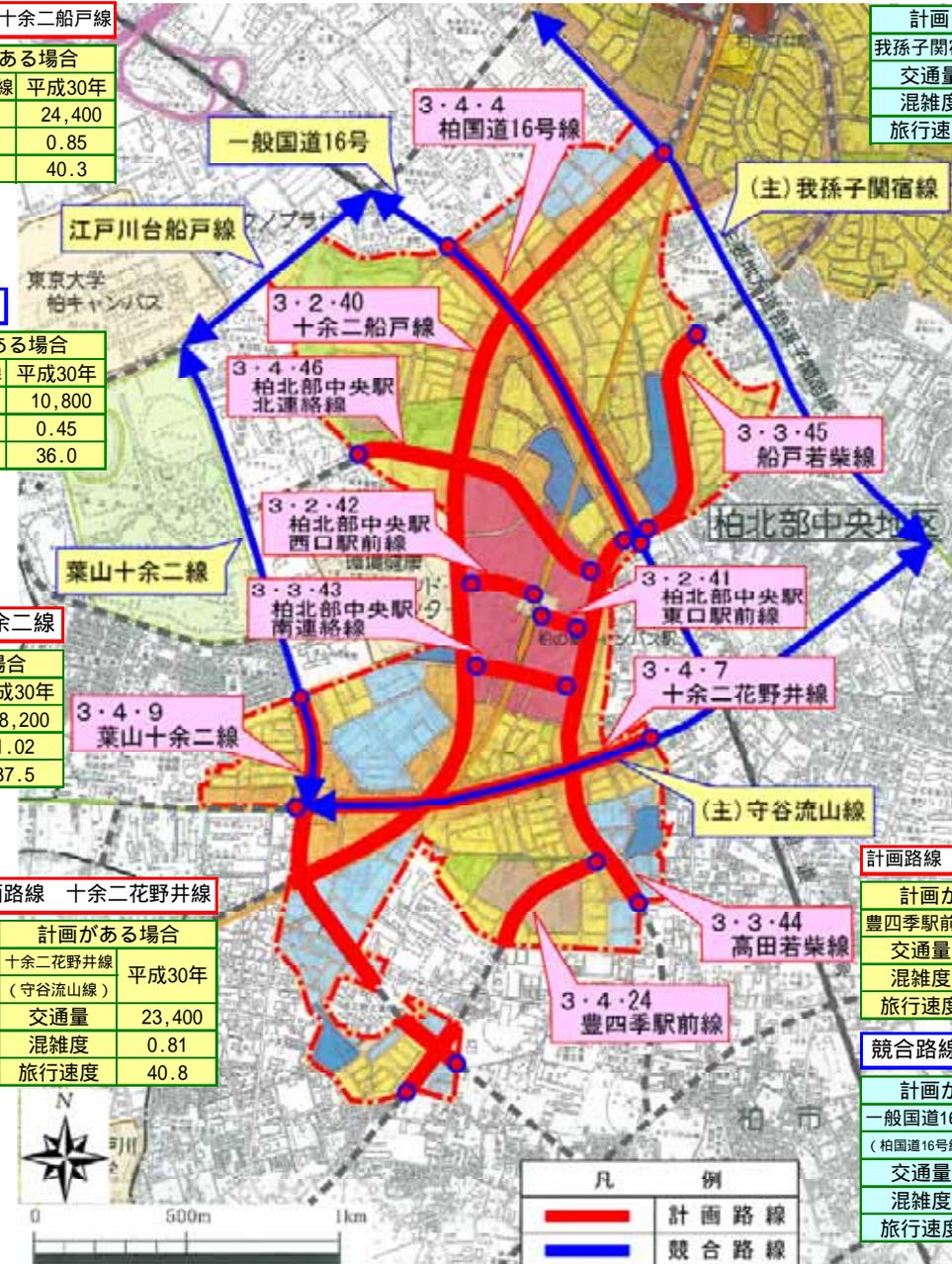
競合路線 主要地方道守谷流山線 計画路線 十余二花野井線

計画がない場合

守谷流山線 (十余二花野井線) 平成30年	
交通量	39,600
混雑度	1.38
旅行速度	11.9

計画がある場合

十余二花野井線 (守谷流山線) 平成30年	
交通量	23,400
混雑度	0.81
旅行速度	40.8



凡 例

—	計画路線
—	競合路線

【費用便益分析の結果】

算定根拠：街路事業における費用便益分析マニュアル

便 益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合 計
基 準 年	平成 20 年度			
供 用 年 次	平成 30 年度			
単年便益(初年便益)	114.64億円	-4.31億円	2.23億円	112.56億円
基準年における 現在価値(B)	1562.91億円	-58.73億円	30.42億円	1,534.60億円

費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成 20 年度		
単 純 合 計	310.50億円	20.03億円	330.53億円
基準年における 現在価値(C)	275.13億円	6.96億円	282.10億円

評価指標の算定結果

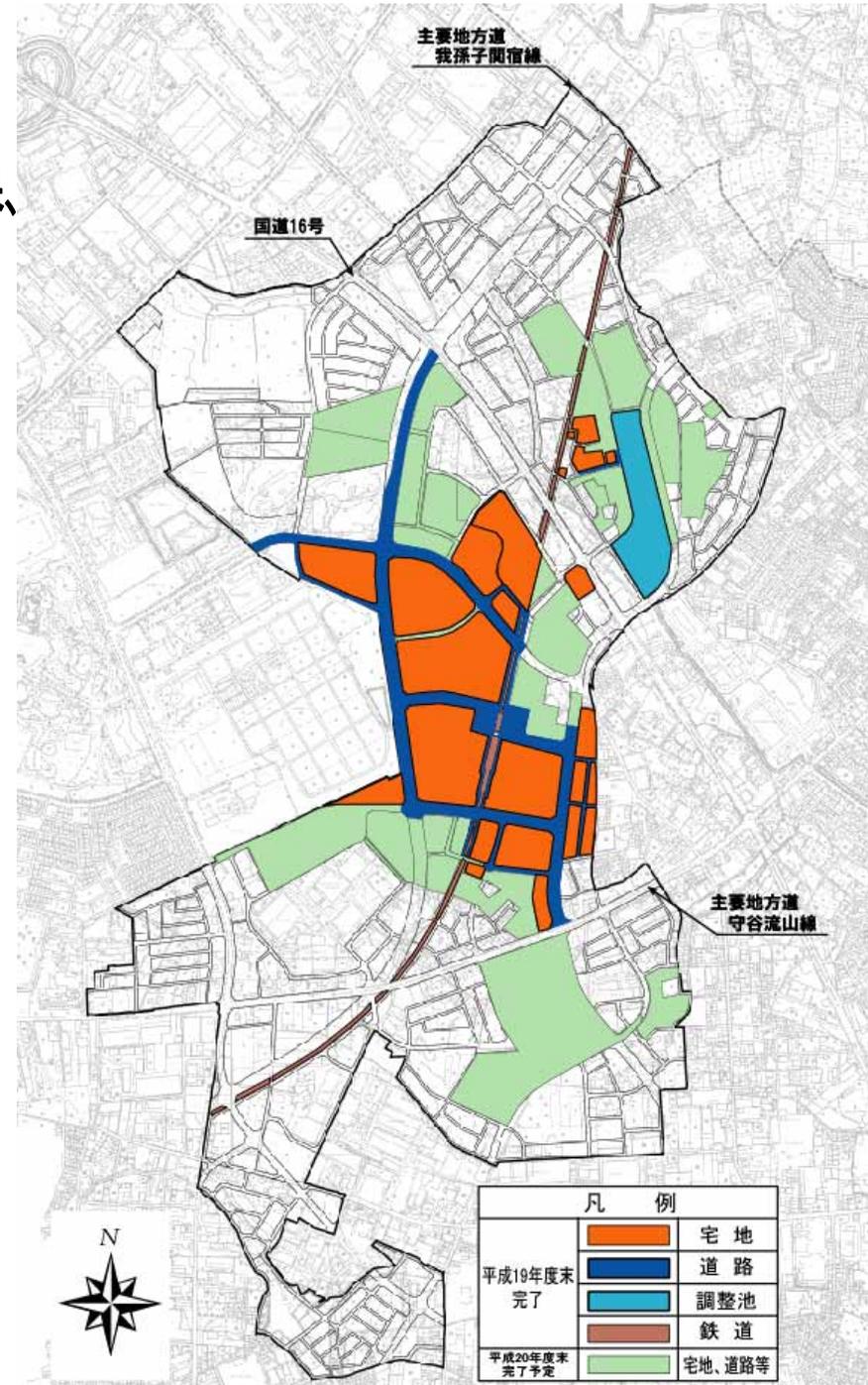
費用便益比(CBR)	B / C = 5.44
------------	--------------

【事業の進捗状況】

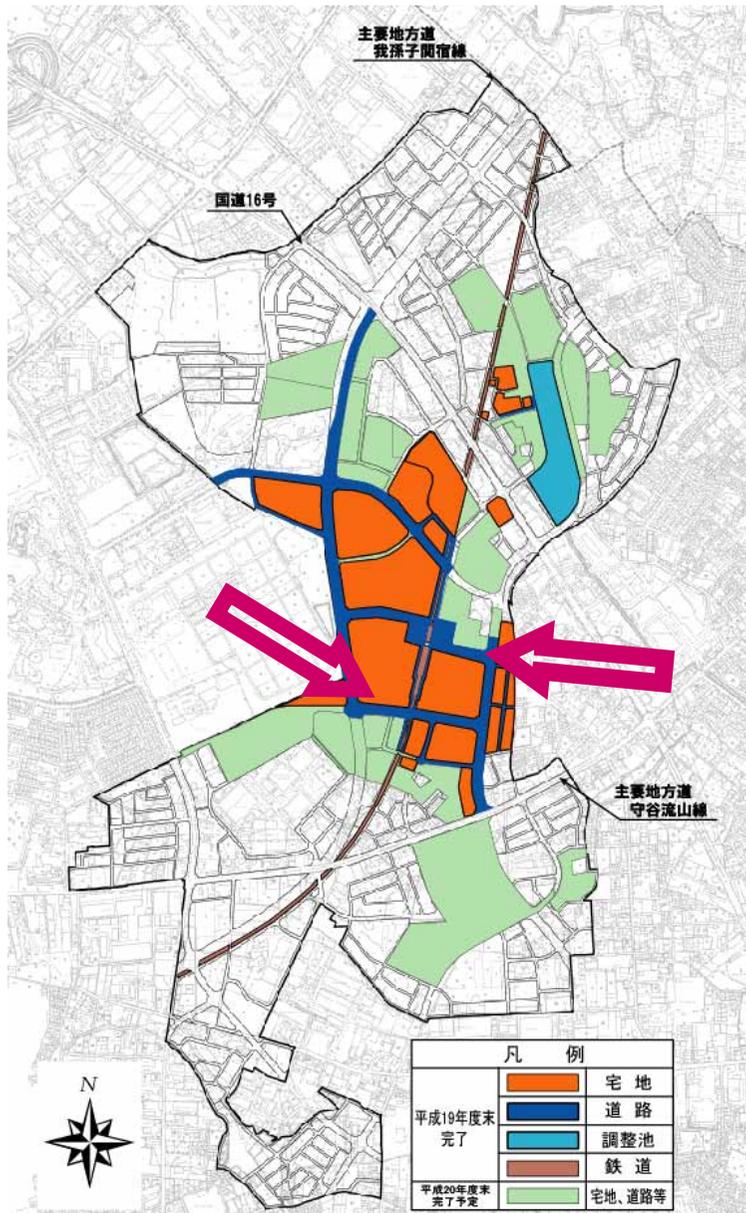
平成17年8月鉄道開業に向けた用地確保、
駅前広場や駅周辺道路等基盤整備

鉄道開業後は、引き続き
駅周辺街区等の整備

	計画 事業量	事業 進捗量	進捗率 (H19年 度末)
総事業費	963.0 億円	215.0 億円	22.3%
整備面積	272.9 ha	46.0 ha	16.9%
建物 移転	246 戸	90 戸	36.6%
仮換地 指定率	151.2 ha	36.40 ha	24.1%



【進捗状況写真】

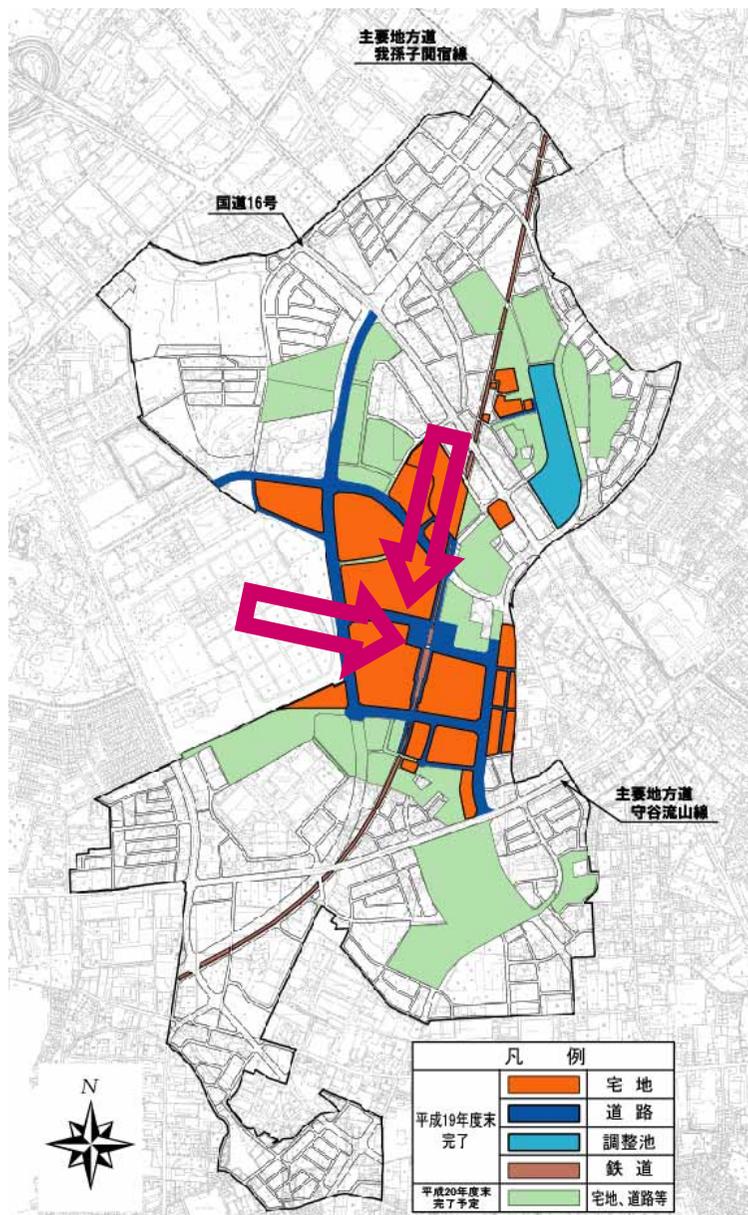


柏北部中央駅南連絡線 (平成20年9月撮影)



柏北部中央駅東口駅前線 (平成20年9月撮影)

【進捗状況写真】



【社会経済情勢等】



流山おおたかの森駅周辺



柏の葉キャンパス駅周辺

【現在の取り組み状況】

現在の取り組み状況と対応

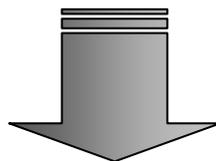
- ・家屋移転補償交渉を中心とした民間への委託
- ・駅周辺道路の整備促進
- ・保留地の計画的・戦略的な整備促進
- ・事業のスピードアップに向けた段階的整備計画の実施

【今後の対応方針案】

千葉県のアクションプランに位置づけられた重点事業

事業のスピードアップを図り早期完了に取り組んでいる

地元市及び地権者が早期完成を強く要望



継 続

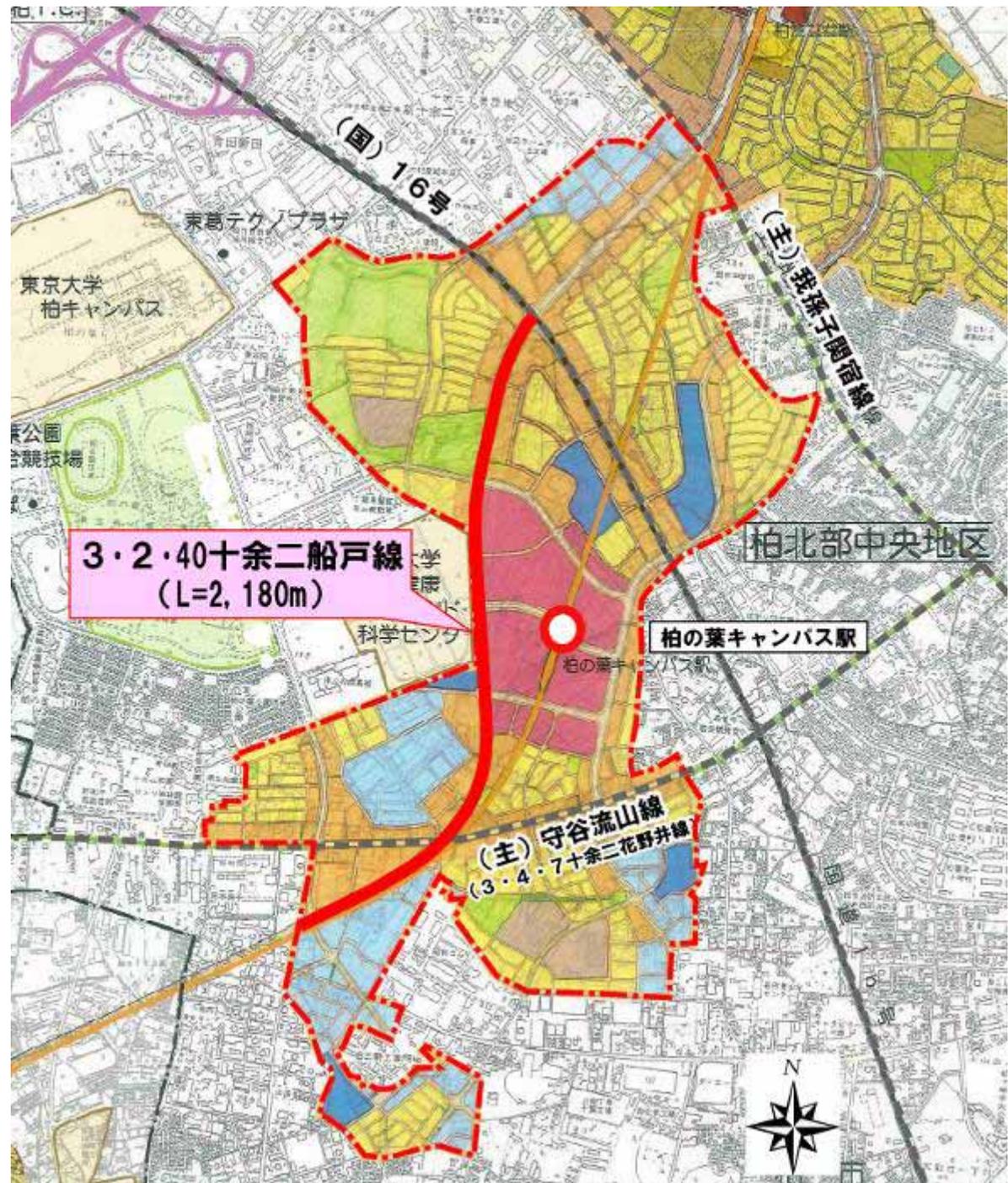
住宅市街地基盤整備事業

住宅及び宅地の供給を特に促進する必要がある都市部などの地域において、良質で良好な住宅宅地事業の促進を図るため、これに関連して必要となる道路、公園、下水道、河川等の公共施設に関する事業について、通常の公共施設整備事業に加え別枠で国が補助等を行う制度



・住宅宅地事業と公共施設整備事業を総合的に行うことにより、より良好な住宅宅地の供給促進を図る

【事業概要】



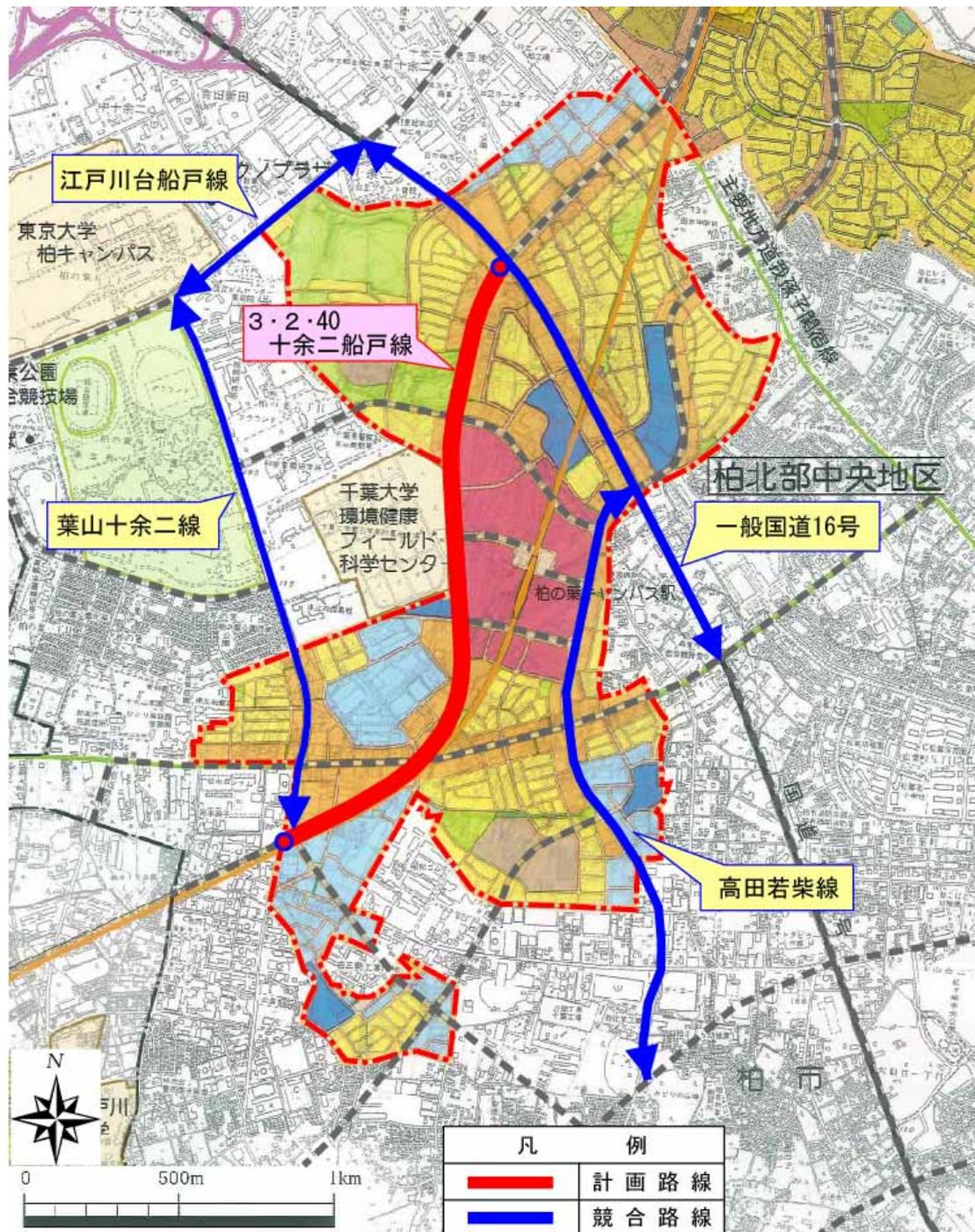
【費用便益比】

対象街路(計画路線)

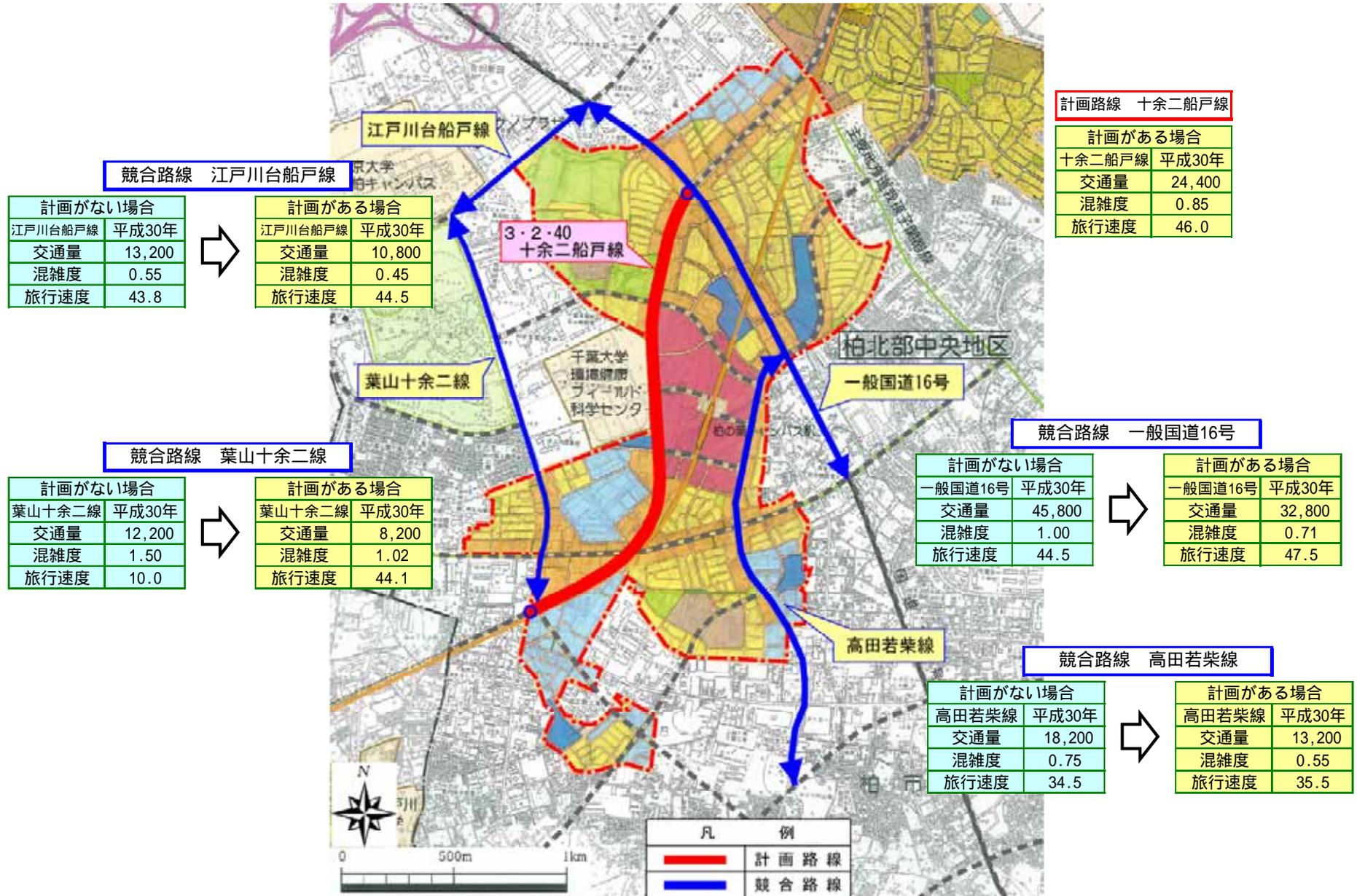
3・2・40 十余二船戸線
(葉山十余二線付近から柏国道
16号線交差部まで)

競合路線

- 一般国道16号
- 3・3・44 高田若柴線
- 3・3・34 江戸川台船戸線
- 3・4・9 葉山十余二線



【計画路線・競合路線交通量の推移】



【費用便益分析の結果】

算定根拠：街路事業における費用便益分析マニュアル

便 益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合 計
基 準 年	平成 20 年度			
供 用 年 次	平成 30 年度			
単年便益(初年便益)	20.74億円	-0.48億円	0.19億円	20.45億円
基準年における 現在価値(B)	282.79億円	-6.56億円	2.58億円	278.81億円

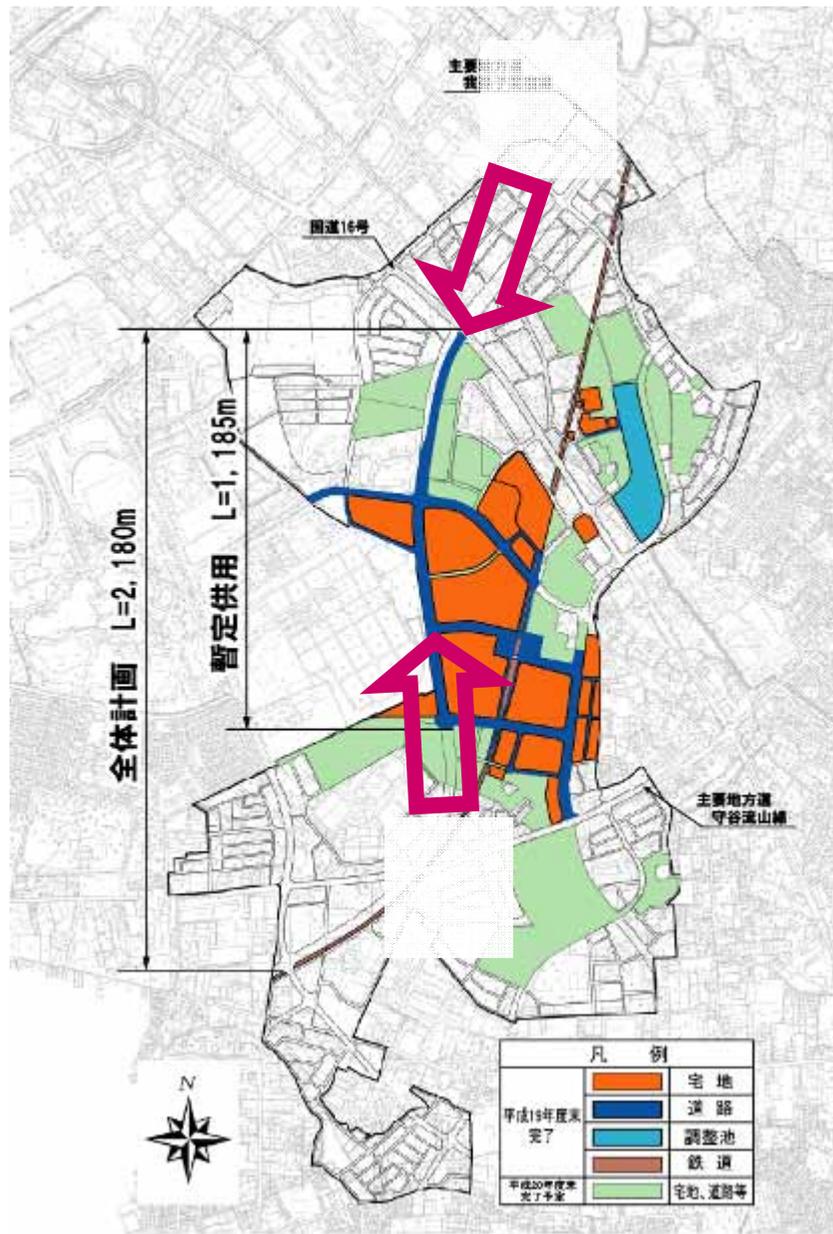
費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成 20 年度		
単 純 合 計	123.50億円	3.58億円	127.08億円
基準年における 現在価値(C)	115.70億円	1.24億円	116.94億円

評価指標の算定結果

費用便益比(CBR)	B / C = 2.38
------------	--------------

【進捗状況写真】



【社会経済情勢等】

社会・経済情勢等

- ・平成17年8月 つくばエクスプレスの鉄道開業
- ・大型商業施設の開店と大型マンションの建設
- ・3・4・9葉山十余二線～国道16号間の渋滞緩和

【社会経済情勢等】



【現在の取り組み状況】

現在の取り組み状況と対応

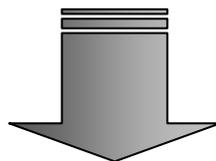
- ・家屋移転補償交渉を中心とした民間への委託
- ・主要地方道守谷流山線の立体交差化への早期着手

【今後の対応方針案】

**地区の骨格となる道路として優先的に整備を進めている
事業**

**地区南北間のアクセスの向上や、周辺道路の渋滞緩和
につながる**

地元は事業の促進・早期完成を要望



継 続

- *End* -